

奈良井宿かわらばん

奈良井宿観光案内所 0264(34)3160

奈良井宿の公的情報の中心

高札場

高札場は、江戸時代に幕府や藩が定めた法律などを、人々に周知徹底させる目的で、^{おきて じょうもく きんせい}掟・条目・禁制などを書いた板(高札)を掲げていた場所です。宿場町の高札場には、特に宿継ぎ^{だちん}の駄賃を定めた高札なども掲げられ、また、宿



場間の距離をはかる基点となっていました。

奈良井宿の高札場は、京方の入口にあたる場所におかれ、明治の初めまで使われていましたが、そののち街道の廃止にともなって撤廃されました。現在の高札場は、当時の絵図(『町

方明細図』貞享3年 1686年)にもとづいて昭和48年に復元されました。

当時の高札場の位置

絵図(町方明細図)には往還の山側で、鎮神社と町との間にその姿が描かれています。そして、鎮神社と高札場の間に『沢(宮の沢)より御高札まで十八間(約 32m)』、高札場と町との間に『御高札より町迄式拾間(36m)』とあって、その位置を示しています。

現在の高札場は復元されてほぼ旧位置に立っていますが、もとの位置は現状の位置よりやや江戸側にあつたと考えられます。

参考文献: 楢川ブックレット11・町並調査報告書 木曾奈良井